



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

# 武蔵野小だより



令和2年12月1日発行

## 精一杯力を尽くした持久走大会

本日は、持久走大会が行われました。保護者の皆様には寒空の中、たくさんの応援をいただきまして、誠にありがとうございました。

運動は人によって得手不得手があるもの、持久走も然りです。その中で自分の目標に向けて精一杯力を尽くす子どもたちの姿には心を打たれるものがありました。また、当日だけでなく練習期間にも、共にがんばる仲間に、拍手やエールをおくる子どもたちがとても多かったことも大変すばらしかったと思います。

## う たゆ 倦まず弛まず 音楽に親しむ

今年度は「響け輝けコンサート」の実施を見送らせていただきました。そこで、今月は子どもたちが音楽の授業にどのように取り組んできたかをお伝えします。

登校再開後もしばらくの間は、授業の進め方を模索するような状態でした。しかし、合唱はできなくとも、密を避けながら楽器演奏はできるはず。高学年は3つの教室で約1か月のパート練習を行った後、全体で合わせました。曲がうまく奏でられた時の喜びはこの上ないものがあるそうです。制約のある中ですが、文字どおり音楽を楽しみながらどの学年も授業に取り組みました。

10月以降は、マスク着用の上で歌の学習も再開しました。美しい歌声の合唱を目指し、今では数か月のブランクを取り戻しつつあります。

音楽への意欲は休み時間にも続きます。自主的に音楽室に集まり練習する子どもたち…。自らリズムを刻み、旋律をチェックし、少しでも上達しようと努める様子には感心させられます。

音楽主任の教諭は、「話をよく聞き、深く考えようとする子、最後まであきらめないで課題に取り組む子が増えています。」と語ります。

今月は外部より楽器演奏家を招いて音楽鑑賞会を実施する予定です。感染防止対策を行ったうえで、子どもたちが音楽に親しみ、そのよさを味わうことができる取組を今後も可能な範囲で進めてまいります。



6月、2年生は紙で作った鍵盤ハーモニカで指の動かし方を学びました。



9月、3年生は音楽室の外側を向いて初めてのリコーダーを演奏しました。



高学年を中心に休み時間にも自分のパートを真剣に練習する姿が見られます。



11月、1年生は広いランチルームに移動して鍵盤ハーモニカの練習をしました。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす